

刊夕 日一廿月二



定価(部)六、一ヶ月五拾圓 郵税五圓
 廣告料五圓 十二字一圓 一行五拾圓
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐密日新聞社
 印刷所 常磐密日新聞社
 電話 六三〇番



眞の自由 (一)
 哲宗 辻

『我に自由を興へよ、然らずんば死を興へよ』フランス革命によつて叫ばれたこの標語は、世界の到る處に叫ばれ唱へられて居ります。自由は人類の等しく要求する最高理想であり、また最大の幸福であります。自由は實に尊いものであります。しかし世界人多しと雖も、我は自由なり我は自由を得たりと、叫び得る者が果して幾人あるでせうか。現代の青年男女は、從來の道徳を守るにと、苦痛を感じて、國家の法律は餘りに我々を束縛する、風俗習慣は我々を不自由ならしめる。宗教は吾々を去勢する。従つてこれ等の束縛から解

ノット

米國で評判の親爺教育といふ連載漫画は今年で二十二年間續いてゐる、尙米國以外に三十九ヶ國でも掲載中

放されたいと、あがき『自由の世界を建設すべく社會制度を改造せよ』と叫んでゐます。しかしその叫びは果して正しいものでありませうか。

せうか。一時の感情に刺戟されて赤化思想の渦中に飛込む者があれば、舊道徳を打破せよと叫んで、戀愛が文明人の道徳でもある様に、親兄弟を振り捨て、自由結婚に走る者があります。家の者と思想が合はないと言

【朝】味噌汁—ねぎ 小付 生玉子

【晝】小魚 おろし煮

【晚】大根おろし合へ りんご みかん 鱈目 南 ばん つゆ生姜

つて、家出する者があれば夫と趣味が合はない、姑に仕へ難いと言つて、里歸りする妻があります。然もかうした人々は、中等以上の教育を受けた人々に却つて多い様です。

皆様、現代人は忍ぶといふことなしに餘りに勝手に自由を形の上に追ひ求めてはゐないでせうか? 現代人は餘りに自己本位であり、自我主義的であり、權利主義的ではないでせうか。皆様、眞の自由は決して形の上に求めて得られるものではないでせうか。『來て見れば森にも森の曇り哉』形の上に自由は、自由の様に見えても、實は大いなる

不自由であります。形の上に自由を求むるの餘り、悲しい運命に泣き寂しい後悔の涙にむせび苦しむ懊惱を續けてゐる者が如何に多いこととせう。畢竟形の上の自由は、墮落と破滅とを來すものであります。

我等は知識を得ることも勿論大切であります、一面また常に心眼を開くことを忘れてはなりません。一度心眼を開けば眞の自由は決して外から興へられるのではなく、内から生れ出づるものであり、形の上に存在するものではなくして、魂の上のみ存するものである事に氣附くのであります。

さうして、また自由は不自由の外に在るのでは無く不自由がそのまゝ自由であり、束縛が即ち自由である事を悟られるでせう。

落をゆけばまほろしの白帆しづかに春の海心に淡き波の色ほんに夢やら涙やら



渡邊 海颯

落を行けば

落をゆけばまほろしの白帆しづかに春の海心に淡き波の色ほんに夢やら涙やら

十錢日掛で蓄音器が買へます
 (此際申込の方にレコード十枚進呈)
 レコードはメトロ

蓄音器の修理は實費でいたします
 春の宵にふさはしい
 名曲レコード(五枚一組)

宣傳のため一晩十錢でお貸いたします。ハガキで申込下さい、お電話頂いても順番が御座いますからその日にお届け致し兼ねる場合も御座います

安いで奉仕する一坪の店
 平町四丁目

メトロレコード店
 電話(呼)二一四番

歯科口腔外科
 レントゲン科

院長 東京歯科 原 精一
 東京歯科 醫學士 柏倉 武男
 平町土橋通り
 電話三一一番
 原齒科醫院

是非!

御融通には御用命下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店
 平四・電六〇六番

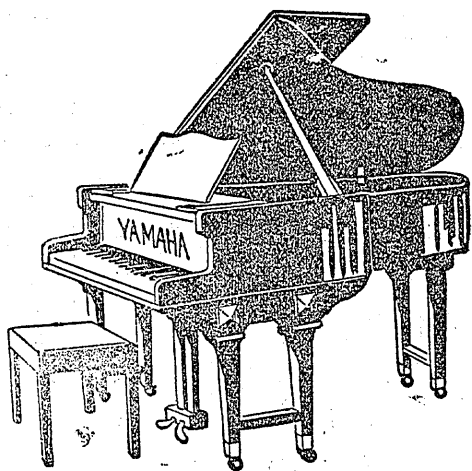
産人科 院長 木村寅次郎
 婦人科 醫學博士 内木宗八
 外科 藥劑師 立番彌一
 平町新川町十九
 入院隨意 病室完備
 木村病院
 電話 六四番

花柳病科 專門

木村外科醫院

自炊入院の便あり
 電話 三〇九番
 平町六丁目橋際

葉山



ピアノ

五〇〇圓以上
 オルガン
 廿七圓以上
 分割拂
 便法有

地方特約店



佐々木商店
 電話 二三三番

平町字紺屋町角(公園前)

平町の新豫算

財源難の折柄にて

目星しい事業なし

▽ 大体前年度を踏襲

平町に於ける昭和十年年度の豫算は昨日午後二時より町會議事堂に町議を招集、青沼町長より内示あつたが歳入は三十四萬三千八百五十六圓、歳出は經常部廿九萬六千六百六圓、臨時部四萬七千七百五十圓にて是れを前年度と比較する時は當初豫算よりは一萬七百卅二圓の増を示すも追加を含む豫算よりは一萬七千七百一十一圓の減となる、而して歳入出の主なる増減は先づ歳出の部より見るに經常部に於いて神社費が七十五圓増して居る、是れは從來子歛倉、八幡、八坂の三社のみの供進金が制度の改正に依つて町内十一の小社に五圓宛の供進金を献する事となつた爲め、又會議費の二百六十圓増は會議用テーブルの改造や雜費増の爲め、役場費は高給助役の年手當八百圓が全然削除された關係等に依つて二百七十五圓の減、土木費は土木個所が多いので二千二百卅一圓を増し小學校費は第三校の一學級増加と各校に一人廿圓宛の看護婦を新たに置く爲めから一六六六十四圓

商業學校費は八十二圓の減であるが公民學校、青年訓練所が各々指導者を増す爲めから多少増額し公園費は花時の歡迎費等を見込んで五百八十八圓の増、勸業費は度量衡検査に要する器具機械の新設等に因して五百十四圓の増加、社會事業費の三百五十圓は從來の救助費の款を更生して方面委員の活動に資する社會施設費を見込みたるもの、警備費は常備消防を新設して一千九百七十三圓の減、次ぎに同臨時部に於いては土木費が四千八百十三圓の大減額を示して居るが是れは高麗橋の架設費が姿を消した爲めであり、重要工事として△縣社下より新川に至るヒムパイプに依る排水装置△平野前新道のり舗装△新田町南裡溝渠の被覆△第三小學校立前直通通學道路等を數へ、小學校費に於ては需用費や修繕費が減少して一千七百十三圓の減、青年訓練所費の六百圓は兵器室の新設を見込めるもの、選舉法の改正に伴つて選舉公

る爲めには平均負擔十七圓卅錢であつたのを十八圓に改め三千五百七十五圓の増を見た、是れを要するに財源難の折柄とは云へ、特に注目を引く新規事業等は全然絶無の姿にて辛ふじて前年度を踏襲した遣り繰りの苦心が各款項目に散見して居るに過ぎない、因に初豫算額の前年度比較左の如くである(△印は減)

歳入の部	財産より生ずる収入	一、〇八六 (一)
	使用料及手数料	一五、三三九 (二、七五七)
	水道工事費収入	六、七七一 (△)
	交付金	四、二五九 (△)
	國庫下渡金	二六、九〇一 (一、四〇〇)
	納付金	五 (一)
	就學獎勵金	三〇六 (△)
	縣補助金	二、四四三 (△五、八四)
	縣補助金	一七、四七七 (△一、〇三九)
	請負金	一 (△)
	寄附金	六、七五九 (四、二〇八)
	線入金	六、〇〇〇 (△四、九八九)
	財産賣拂代	一、二二三 (八七)
	繰越金	三、〇〇〇 (△六、六六)
	雜收入	三、〇〇〇 (△六、六六)
町税		

歳出の部 (經常部)	特別税戸數割	八七、四八〇 (三、五七五)
	合計	三三、八五九 (△八、七七一)
	神社費	一五五 (一)
	會議費	二、〇九二 (二六〇)
	役場費	四、八四七 (△二七五)
	土木費	九、七〇八 (二、三三二)
	小學校費	六、〇七六 (一、六六四)
	商業學校費	三、四四六 (△八二)
	公民學校費	五五五 (一三)
	青年訓練所費	一、二二九 (八)
	學事治費	四、八四九 (△五)
	トラホーム豫防費	五、四四九 (一)
	傳染病豫防費	一、〇九九 (三)
	害虫驅除豫防費	一、〇五九 (一五)
	傳染病院費	三、七九九 (一)

汚物掃除費	六、五〇三 (四)	
水道事業費	三、九七七 (△四七)	
公園費	二、三〇九 (五八)	
火葬場費	九七七 (六)	
勸業費	九五四 (五四)	
統計費	五八 (一六)	
職業紹介所費	三、三三三 (六〇)	
社會學業費	二、〇七九 (三三)	
警備費	八、三三八 (一、九七)	
徵發費	一 (一)	
財産費	一、〇〇九 (△三)	
諸税負擔	三二 (△七九)	
公金取扱費	四九六 (一)	
雜支出	四三 (△二七)	
公債費	七〇、六七七 (△七三)	
戻入金	五、三三九 (一、一五〇)	
地方改良費	二、五五〇 (一四)	
豫備費	六、六〇〇 (六〇〇)	
合計	三六、一〇六 (九、一五)	
歳出の部 (臨時部)	土木費	六、九九九 (△四、八三)
	小學校費	一、三六一 (△一、〇七)
	青年訓練所費	三、七九九 (一)

商業學校費	六〇〇 (六〇〇)
選舉公營費	五〇〇 (△五九)
警備費	五 (五)
傳染病院費	四、六七七 (△八九)
寄附金	一〇五 (一)
補助金	二、三三〇 (△四、七九)
市制調査費	二、八〇〇 (△八〇)
訴訟費	二、〇〇〇 (二、〇〇〇)
役場費	五 (一)
水道費	六五四 (△三四)
都市計劃調査費	一〇、〇五九 (二、二八三)
土地拂下繼續費	一、二九〇 (四〇)
小學校敷地買收費	一、三五〇 (一)
國勢調査費	四〇〇 (四〇〇)
合計	四七、七五〇 (△二七、八三)

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

待望のガソリンカー

いよいよ運轉

最新型一〇七人乗り

先づ三臺が推參

既報平驛を中心として五月上旬より四倉湯本小川各驛間に現れる地方民待望のガソリンカー運轉に就いてはこの程水戸運輸事務所で沿線各驛の交通量其の他一切の調査を終へ車體の新造を急ぐ事となつたが平地方のガソリンカーは目下水戸太田間で使用するのと同型の百七人乗最新式車三臺

を四倉湯本間に運轉しゆくは車臺を増加し更に久之濱勿來間に延長の豫定で尚ほ問題視されて居る各驛間の停留場設置は單にホームを設備するだけであるが種々な事情で運轉開始と同時に設けられる事は困難のため當分は現在の停車場に限り乗降の筈である

三原山へ

急ぐ少年途中で御用

神谷村上片寄信雄長男前田忠勇(七)假名は三原山を見物し度い一心から去る十九日實父の金百八十圓を失敬して平驛から乗車したが旅装を整へる爲め廿日茨城縣土浦驛に下車し帽子カバン等を新調し同町中城町を徘徊して居た處を土浦署員に取押へられたが見物したさの出來心に過ぎないので實父を呼んで引取られた

作山氏講演

四倉方面の日割第四區(四倉町外七校)教育會では此程福島教育新聞社

郡教育會で

優良生表彰

石城教育會は來月卒業する郡下各小三校児童及び補習學校青年訓練所の優良生を表彰する事になり今二十一日(三月六日)表

待機の平商校

志願二百を突破せん

既報去る十八日から新學年の生徒募集を開始した平商校では開始前既に二百餘名から入學願書の請求申込みがあつたので學校當局では準備萬端を整ひイザ御參なれと待構へてゐる本日現在の所未だ一人の志願者もない

酌婦の保險統一

三業組合を結成

平署管内酌婦の三業保險組合は現在平、内郷、湯本、小名濱、江名、好間、赤井の七組合に分立し營業者百三十名、酌婦三百十名を擁して居るが當地方は炭礦漁業等の發展から酌婦の移動頻繁で更に櫻の季節ともなれば臨時雇入の酌婦は百四五名に及ぶので横山平署長は今回各組合を一丸とした聯合保險組合を組織し保健施設の統一を計るべく二十

惣次の公判

あす平區で開廷 既報判事の都合に延期されてゐた山形縣生れ目下住居不定無職前科三犯佐藤惣次郎(三)に係る白米専門の窃盗事件公判は明二十二日午前九時から平區裁判所で香西判事係り清田檢事立會の下に開廷される

親不孝の忤に

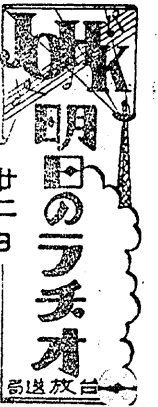
執行猶豫の恩典

既報平區裁判所に於て香西判事から懲役六ヶ月を言渡され不服として控訴を申立て原審通り求刑された平町立町九ノヅリキ職鈴木始(三)に係る親不孝事件の判決公判は昨二十日福島地方裁判所で中村裁判長係り石合檢事立會の下に開廷されたが裁判長より懲役六ヶ月但三年間の執行猶豫を言渡された

既報平區裁判所に於て香西判事から懲役六ヶ月を言渡され不服として控訴を申立て原審通り求刑された平町立町九ノヅリキ職鈴木始(三)に係る親不孝事件の判決公判は昨二十日福島地方裁判所で中村裁判長係り石合檢事立會の下に開廷されたが裁判長より懲役六ヶ月但三年間の執行猶豫を言渡された

平職界紹介所報告

回人を求める方
△女工 二十五才 日給四十五錢迄
△女中 二十才 尋卒 月五六圓
△採炭夫 四十才迄 日給一圓二十錢位
△職を求めめる方
△小店員 十七才迄 高卒
△鐵工 十八才 高卒



今日も明日も南西の風晴曇半す

今晚の部

後六〇〇 子供の時間
管絃樂東京オーケストラ
後六二五 英語講座(三)
の(二) 深瀬基寛
後七三〇 講演
ある由

明日の部
前七〇一 基礎佛語講座
(一) 丸山順太郎
前七三〇 朝の修養(中)
前八〇〇 母の講座
「兒童の情操教育」山田耕
作
後八〇〇 管絃樂 東京
ラヂオオーケストラ
後二〇〇 婦人講座「日
米文化の先端と末端」關
西學院教授 岩橋武夫

桑原 濟部長

濱通り初視察

桑原本縣經濟部長は濱三郡の産業視察の爲め來る廿八日來郡三月一日迄に主として協議する

内郷体育講演

内郷體育會では來る二十三、四の兩日高坂校に於て郡下小學校教員の修身及び體育方面の講習會を開催するが講師は女師附屬校訓導村越豊一氏である

平町人事

△新川町一當時東京市芝區松本町四〇〇眞根井衛門氏二女セツ子
△研町一四當時濱濱市神奈川區千若町稻葉專市氏四女春子
△新川町二二葉谷鑽次郎氏長男主計
△録田町五二小林降さん

店主	か	を	店
を	連	れ	主
行	て	行	店
員	る	る	員
正	シ	イ	食
正	シ	イ	堂
正	シ	イ	茶
正	シ	イ	場
正	シ	イ	場
平	田	町	場
ラ	ス	ト	場
サ	ロ	ン	場
電	二	五	場
三	番		場



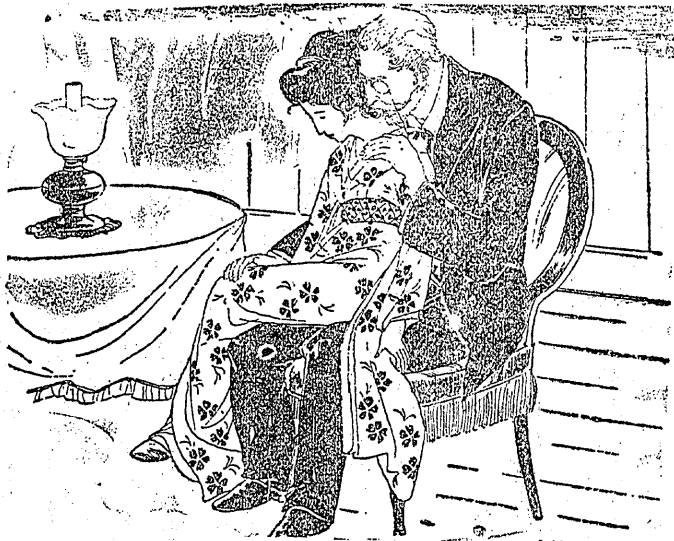
明治太平記

(作) 寺島征史
(畫) 野口 運

第五十八回

助太刀商賣 (十五)

パークスは甘酸ばい顔を
した。
パークスは、おとわの撫
肩を抱いた。それから、人
臭いといった顔ををした。
「ね、さつき、お歸んす
つたばかりなのに……」
おとわは、せいいつばい
の媚をみせた。
「たび／＼きては、わるい
ですか」
「だつて……」
「あなた、さつきのやうな
男、引入れるから、わたし
心配でなりません」
「オホ、……」
おとわは、寢臺の下に息
を殺して忍びである。もう
一人の男をおもひ出して、
含み笑ひをした。
「おや、なにが可笑しいか」
「オホ、いやですわ。何ん
でもないんですの、ホホ、
」



なんとなく、笑つたあと
で、寢臺の下の方がほと
うに情夫のやうな気がした
濃い眉の、眼の釣上つた苦
み走つた、眞に日本人らし
いよい男だ。
「だんなさま」
パークスの枯枝のやうな

けど、何んもなくあたしき
らひなんですもの」
「困るな、解雇してもい
が急に適當な馬丁がみつ
かるかどうか」
「そりや、ありますとも」
おとわは、空に描いた華
麗な異人馬車の御駈臺に、
濃い眉の眼の釣上つた、苦
み走つた男をのせてみた。
辯慶さまの紅毛服に、拍車
のついた粹な長靴をはか
して、ひとりのうれしかつ
た。
「さつきのやうな男、あ
ん、はすめるのぢやない
かな」

「いゝかげん、お拂箱にな
すつてもいゝことよ」
「ハ、何んのことか、わ
しにはわかりません。あの
馬丁なか／＼實直ですぞ」
「でも、いげすかないわ」
「何か、おとわしやんに……」
「いゝえそんなぢやない

パークスは薄笑ひを洩し
た。
「いゝえ、あんな男など……
……そりやね、實直で身體
が立派で、だんなさまのお
馬車には、ほんとうにう
つりがいゝわ」
パークスのけだものゝ匂
ひを嫌惡しながら、おとわ

はしきりに媚態をつくつた
「わかつた、そのうちに雇
つていゝ」
「あら、そのうちなどと、
ずい分たよりないのねえ、
だんなさま、そんなことを
仰しやらずに、明日にでも
あの馬丁さんを取替へてち
やうだいな」
「どういふ男か、いちど見
てからのことにしよう」
「そりやいますぐにでも……」
「いゝですか？」
パークスは、驚鼻をうご
めかして、さらに本能的に
人臭……いとつた顔を
した。
おとわは、周章で、
「いゝえ、あのう、明日、
だんなさまがこちらへいら
つしやるころ呼びよせませ
わ」

外科 X 光線科
性病科
外科

平町田町
安齊外科醫院
電話四七五番

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡 文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)

お醬油は……ヤマフル
醬油味噌
たひら 正宗
鯨節 食料品

鹽 屋
金山崎合名會社
福島縣平町(電話營業部製造工場七)
明治生命磐城代理店 山崎 與三郎

内科 外科 一般
金成醫院
金成 忠 義
平鎌田町(電三五八)
株式賣買債權取立
會社 **三共商事**
大町 電話三六〇番

◎御家庭薬として是非御用意下さい
熱い湯や火でヤケドなされた時直ぐツケますればヒ
ブクレにならずなほります
キリ印太乙膏があれば安心です、お試用見本無料
で差上げますからドウゾ御遠慮なくいらして下さ
い。殊にクサにはモットモ良く二、三回ツケればキ
レイに治ります。

キリ印
太乙膏
ヤケド キリキズ
クサ はだのアレ
ヒョウ あかぎれ
シモヤケ たぐれ
平町古鍛冶町一〇
専賣店

阿康藥舖
電話四四番

10日
検新 機設
お宅の體溫計は?
◎正確な體溫計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい
度量衡 指定販賣人
西村屋藥局
平・二 電 三番